陸から、川から、そして海から、奇岩をたずねて

南紀熊野は奇岩の宝庫です。それぞれの岩によって、出来上がった時代や素材、形成された要因が異なります。自然の営みが生み出した奇跡の姿が、あなたの目をくぎ付けにします。

千年の足跡と自然への祈り

熊野の地は、平安時代には上皇や貴族がこぞって参詣し、今では人類共通の世界遺産となりました。歴史と信仰に包まれたこの大地が、あなたを神秘的な旅へと誘います。

MAP 01 大門坂

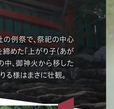
石畳の風情残る熊野古道

熊野古道の一部で、約650mの間、杉の木木に囲まれた石畳が続いています。石畳に使われている石は主に砂岩で、約1,600万年前に浅い海の底に溜まったゆめ地層が固まったものです。石の中には、海底で暮らしていた生物の巣穴などの痕跡が見られるものもあります。

MAP 02 神倉山のゴトビキ岩

熊野の神が降臨した巨岩

熊野の神が初めて地上に降臨した場所とされ、熊野速玉大社の元宮である神倉神社の御神体となっています。火山活動によって生まれた岩石（火成岩）で、長年の雨風によって風化され現在のような丸みを帯びた形になったと考えられています。538段もの急な石段を登って辿り着くこの場所からは、新宮市街と太平洋の大海原が見渡せます。



御燈祭

毎年2月6日に開催される神倉神社の例祭。祭祀の中心はゴトビキ岩です。白装束に荒縄を締めた「上がり子（あがりこ）」と呼ばれる男たちが、暗闇の中、御神火から移した松明を片手に急峻な石段を駆け下る様は迫力満点。

MAP 03 那智大滝

「一段の滝としては高さ日本一」の大滝

落差133m、滝壺の水深10mにも及ぶ大滝で、「一段の滝としては日本一の高さを誇り、日本三名瀑の一つにも数えられます。滝の前にある熊野速玉大社の別宮「飛瀧神社」には神社をもたない社殿や、御旗大滝そのものを御神体として祭っています。この滝は、火山活動によって生まれた、硬く発泡していない岩石（火成岩）と、浅い海底に堆積してきた、比較的やわらかい岩石（堆積岩）の、ちょうど境界上に位置しています。やわらかい岩石が削られ続いた結果が残ることで、この神秘的な空間が生まれたのです。

那智の扇祭

毎年7月14日に催される「扇祭」。御旗大滝の水流から、重さ50kgもにもおよぶ大きな扇が、勢いよく引き上げられる様子は、まるで滝が扇を開いたかのようです。

海沿いの熊野古道

MAP 04 高野坂

熊野速玉大社から熊野那智大社へ巡拝する人々が歩いた熊野古道の一部です。約1,500万年前の火山活動によってできた山を越え、太平洋に面した王子ヶ浜、捕鯨文化を今に伝える鯨山見跡、苔むした石畳など、短いコースの中に見どころが続きます。

御船祭

毎年10月に開催される熊野速玉大社例大祭の一部で、御霊を乗せた神幸船を先導する形で9社区の早船が競漕します。

「新宮」の由来となった、熊野信仰の中心地

MAP 05 熊野速玉大社

御神木のナギの木

ゴトビキ岩に降臨した熊野大神をお祀りするために「新宮」を造営したのが始まりとされており、これが新宮の町の名前の由来となったといわれています。熊野川の河口のほど近く、新宮の街中に鎮座しており、境内にそびえる樹齢千年のナギの大樹は平重盛の手植えと伝えられています。

那智大滝を擁する、熊野信仰の中心地

MAP 07 熊野那智大社

那智の田楽

那智大滝を崇める自然信仰が起源といわれており、元々は熊野の神々も滝の神様とともに滝の近くに祀られていましたが、およそ1,700年前に現在の場所に社殿を創建し遷されたとされています。熊野詣の最終目的地であり、那智山青岸渡寺とともに、熊野信仰の中心地として栄えました。

神仏習合の霊場として栄えた寺院

MAP 06 那智山青岸渡寺

三重塔と那智大滝

熊野那智大社と一体となって、神仏習合の霊場として栄えた寺院です。明治の神仏分離令により神社と寺院が分離され、現在は天台宗の寺院として、熊野那智大社に隣接しています。那智大滝を背景に、朱色に映える三重塔は、絶好のフォトスポットとなっています。

南紀熊野ジオパークを象徴する奇岩

MAP 01 橋杭岩

本州と紀伊大島の間を、南北850mにわたってまるで橋脚（橋杭）のように岩が直線状に並んでいます。約1,500万年前に地下から上昇したマグマが、堆積岩の地層の中に細長く入り込んで固まりました。その後、侵食によって軟らかい堆積岩の部分だけが削られ、残ったマグマの部分が橋杭岩となったのです。潮の満ち引きでころころと変わる光景をお楽しみください。

日本最大級の一枚岩

MAP 02 古座川の一枚岩

高さ100m、幅500mにわたる、硬い黒っぽい岩からなる一枚の岩です。約1,500万年前の火山活動によって地殻が隆起し、溶岩ドームができました。その後、川に沿って火山灰やマグマが流れてきて冷えた岩状の火成岩部分が残りました。古座川の一枚岩もその1つです。一枚岩には無数のシワが、毎年4月19日前後と8月25日前後に巨大な光の影が出現します。

南紀熊野ジオパークを象徴する奇岩

MAP 03 千畳敷

階段状の岩畳。水深100mよりも浅い海に土砂が堆積して約1,600万年前にできた地層が、地震のたびに隆起し、絶え間なく打ち寄せる荒波に削られてできたものです。地層の中には、水の流れの痕跡であるリップルマークや、当時海底で暮らしていた生物の巣穴の痕跡である「生痕化石」が残っています。

海に突き出た神社古式捕鯨にも

MAP 04 梶取崎

熊野灘に突き出るような半島の先端、それが梶取崎です。厚い砂岩の地層の絶壁が作る岬で、崖の上には平らな土地が広がり、太平洋を見渡すことができます。この立地を活用し、かつては古式捕鯨で鯨を見張り沖の舟を指揮する「山見」が置かれていました。

熊野詣の貴族も眺めた景観

MAP 20 フェニックス褶曲

「褶曲」とは、折りたたまれるように岩がたった層のこと。フェニックス褶曲は、理科の教科書にも載るような、代表的な「褶曲」のひとつです。深い海の底に堆積した砂と泥の地層が、陸側に押し付けられるときの力によって曲げられました。

折りたたまれた大地

MAP 21 滝の湯

約200年にわたり胃腸に効いた温泉の湯。これは昔ながらの「ぼっかん入り」だったが、水量によって変わり、胃腸を休ませることもできる「ボッカホール」というものです。

周辺の地層は熱の影響で硬くなっているため、穴が壊れにくく、下に深く掘られます。初夏にはトンボ釣りというアユの引掛け漁が営まれます。

河床に空いた無数の穴

MAP 22 熊野川の川舟下り

かつて熊野への参詣者も下った熊野川上流部は約1,500万年前の大規模な火山活動によってできた石石（火成岩）のため硬くて川の侵蝕は急緩なため、珍しい形の岩や滝を見ることができます。

波の削り出した岩々

MAP 23 紀の松島

いくつもの小島や奇岩、海食洞が続く多島海。浅い海で堆積した地層が熱の影響で硬くなり、波の侵食を耐え抜いて現在の姿になりました。遊覧船に乗ってお楽しみください。

自然が生み出した不思議

MAP 30 高池の虫喰岩

まるで蜂の巣のような無数の穴が岩肌に開けられています。もとの岩は、約1,500万年前の大規模な火山活動によって作られました。その後、岩の表面の小さな隙間に塩分を含んだ水が入り込み、水分が蒸発して塩などが結晶化し、それが大きく成長して岩の表面が割れる、というプロセスが繰り返され、穴が次第に大きくなったと考えられています。

白浜を象徴するタ陽の名所

MAP 27 円月島

波の侵食によって中央部がぽっかりと開いた島。島自体は、小石が集まって固まった礫岩でできています。夕陽スポットとしても知られ、特に春分の日や秋分の日前後は円月島の穴に重なるように沈む太陽を目当てに多くの方が訪れます。

由緒あるお寺は奇岩の宝庫

MAP 28 救馬渓

救馬渓観音の境内では、5,000～3,000万年前に形成された付加体という地層の上に、約1, 800万年前に形成された前弧海盆堆積体という地層が重なっており、上下に重なった2つの地層の形成年代には大きなギャップがあります。6月中旬～下旬はあじさいも見頃です。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

紀伊山地の霊場と参詣道

世界遺産とは、顕著な普遍的価値を有する文化遺産や自然遺産を、全人類共通の遺産として守るプログラムです。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」の三つの霊場と、そこに至る熊野古道などが「参詣道」は、2004年に世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されました。

最大の特徴は「文化的景観」で、山や森などの自然と、それを信仰する人間の営みとが合わさってでき上がった景観が守られています。

UKETA MEMO 上皇、法皇と熊野詣

平安時代、天皇が都を離れることは容易ではありませんでしたし、しかし院政期には、天皇を退位された上皇（院）や上皇が出家した法皇は自由で権力もあり、繰り返し熊野を御幸しました。907年の宇多法皇に始まり、白河法皇、鳥羽法皇、後白河法皇、後鳥羽上皇の4代で合計90回以上にもわたり熊野を参詣したのです。その影響は大きく、やがて上流から、そして庶民にも広まり、「蟻の熊野詣」と呼ばれるほどに隆盛を極めました。

UKETA MEMO 自然信仰と熊野

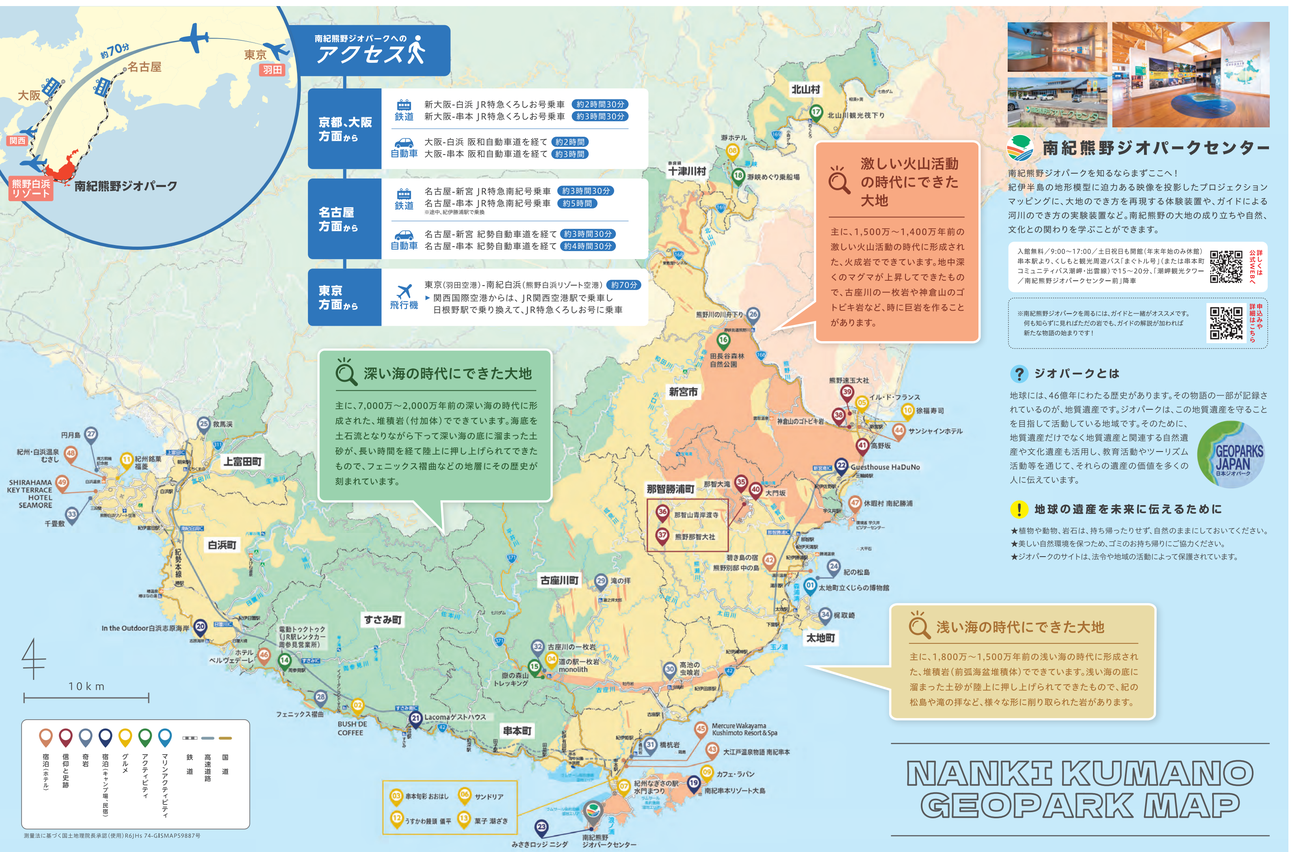
日本では古くから木や石、滝などの自然物を八百万の神々として信仰してきました。例えば、熊野速玉大社は神倉山の巨岩ゴトビキ岩への信仰が原点とされ、熊野那智大社の別宮、飛瀧神社では御神体として那智大滝が祀られています。紀伊山地では古くから自然信仰が育まれ、6世紀に仏教が伝来して以降は神仏習合の霊場として信仰を集めました。

UKETA MEMO 折り重なる山々の大地

日本列島の地質は、日本アルプスの東側を通るフォッサマグナによって東西に分けられます。その西側はさらに、東西に横断する大断層、中央構造線によって南北に分けられます。南紀熊野ジオパークはこの中央構造線の南側に位置し、日本でもトップクラスの山の急峻さを誇る地域です。平野が少ないため水田はごくわずかで、郷土料理の「茶がゆ」は少ないを高増しするために生まれたといわれています。

UKETA MEMO 日本有数の雨が削り出した岩

紀伊半島南部は、降水量が年間3,000mm以上（平年値）に上る、日本有数の地域です。沖を流れる黒潮からの温かく湿った空気が、急峻な山地にぶつかることで、多くの雨が降ります。ここで紹介する奇岩の多くは、その雨や風に削られて現在の形になりました。紀伊半島の南端にある地域です。平野が少ないため水田はごくわずかで、郷土料理の「茶がゆ」は少ないを高増しするために生まれたといわれています。



NANKI KUMANO GEOPARK MAP

激しい火山活動の時代にできた大地

主に、1,500万～1,400万年前の激しい火山活動の時代に形成された、火成岩でできています。地中深くのマグマが上昇してできたもので、古座川の一枚岩や神倉山のゴトビキ岩など、時に巨岩を作ることがあります。

深い海の時代にできた大地

主に、7,000万～2,000万年前の深い海の時代に形成された、堆積岩（付加体）でできています。海底を土石流となりながら下って深い海の底に溜まった土砂が、長い時間を経て陸上に押し上げられてできたもので、フェニックス褶曲などの地層にその歴史が刻まれています。

浅い海の時代にできた大地

主に、1,800万～1,500万年前の浅い海の時代に形成された、堆積岩（前弧海盆堆積体）でできています。浅い海の底に溜まった土砂が陸上に押し上げられてできたもので、紀の松島や滝の拝などと、様々な形に削り取られた岩があります。

南紀熊野ジオパークセンター

南紀熊野ジオパークを知るならまずここへ！紀伊半島の地形模型に迫力ある映像を投影したプロジェクションマッピングに、大地のできた方を再現する体験装置や、ガイドによる河川のできた方の実験装置など。南紀熊野の大地の成り立ちや自然、文化との関わりを学ぶことができます。

入館無料／9:00～17:00／土日祝日も開館（年末年始のみ休館）
串本駅よりくしもと観光周遊バス「まぐトル号」（または串本町コミュニティバス運賃・出発時）で15～20分、「潮岬観光タワー／南紀熊野ジオパークセンター前」降車

詳しくは公式HPへ

※南紀熊野ジオパークを高らには、ガイドと一緒がオススメです。何も知らずに見れはただの岩でも、ガイドの解説が加われば新たな物語の始まりです！

申込み&詳細はこちら

ジオパークとは

地球には、46億年にわたる歴史があります。その物語の一部が記録されているのが、地質遺産です。ジオパークは、この地質遺産を守ることを目指して活動している地域です。そのために、地質遺産だけでなく地質遺産と関連する自然遺産や文化遺産も活用し、教育活動やツーリズム活動等を通じて、それらの遺産の価値を多くの人に伝えています。

GEOPARKS JAPAN 日本ジオパーク

地球の遺産を未来に伝えるために

★植物や動物、岩石は、持ち帰ったりせず、自然のままにしておいてください。
★美しい自然環境を保つため、ゴミのお持ち帰りにご協力ください。
★ジオパークのサイトは、法令や地域の活動によって保護されています。

地球旅

それは時を遡る時間旅行

西の白浜から、南端の串本、そして東の新宮へ。南紀熊野のドライブは、ひたすら海岸に沿ってわずかな平地を進みます。しかし、東へ西へと車を走らせていると、実はちょっとした時間旅行ができるのです。

岩は岩でも、同じ岩ではない！？

南紀熊野ジオパークには様々な奇岩が見られますが、実は同じ奇岩でも、成り立ちがそれぞれ違うのです！

那智大滝は、火山活動でできた硬い岩石と、それに比べて軟らかい浅い海の時代にできた地層の境界にあります。長い年月をかけて水による侵食を受けて133m もの落差ができました。

南紀熊野を彩る食

古くからの食文化には、その土地の風土が反映されています。
山が多く海にも面している南紀熊野の地では、多くの海の幸、山の幸が育まれてきました。

めはりずし

大きなにぎり飯を塩漬けした高菜の葉で包んだもので、「寿司」といっても酢飯ではありません。北山川の筏師など山で働く人々がお弁当代わりに食してきた郷土料理で、現在では専門店もあります。

茶がゆ

平地の少ない南紀熊野では米が貴重だったため、番茶を使ったおかゆにして食べていました。朝霧が深い熊野の山はお茶の栽培にも好適。庶民の食として親しまれてきました。

詳細はこちら

鯨料理

江戸時代には組織的な捕鯨が始まり、鯨は庶民の食として日本各地に普及しました。とりわけ太地町は古式捕鯨の伝統を受け継いできた地で、刺身など様々な鯨料理が親しまれてきました。

マグロ

多くのマグロは船上で冷凍されますが、勝浦漁港では「生」のまま水揚げされます。延縄漁法による「生マグロ」の水揚げは日本一。周辺にはマグロ料理のお店やお宿が立ち並んでいます。

身も心もほぐれるひとときを

リゾートホテルから和の雰囲気漂う温泉旅館まで。南紀熊野の過ごしかたはいろいろ。あなたのスタイルに合った、宿がきっと見つかります。

碧き島の宿 熊野別邸 中の島

一島一旅館。中の島へは、小舟でしかたどりつけない、秘境の地。静寂の時間を楽しむ。全プライベート空間で、熊野に抱かれながら絶天絶景をお楽しみいただけます。

MAP 17 休暇村 南紀勝浦

熊野灘を一望する高台の宿。和洋室、洋室、和室と揃っており、アウトドアリビング「空と海のテラス」では満天の星空や熊野灘からの日の出が望めます。

MAP 18 Mercure Wakayama Kushimoto Resort & Spa

太平洋を一望できるシーサイドリゾート。名勝「橋杭岩」、紀伊大島、太平洋を一望出来る温泉露天風呂や、36m以上のゆったりとしたゲストルームが魅力です。

MAP 19 大江戸温泉物語 南紀串本

オーシャンビューの絶景温泉宿。太平洋を望む開放的な露天風呂が魅力で、名勝「橋杭岩」を眺める展望テラスもあります。

MAP 05 紀州・白浜温泉むさし

白良浜から、徒歩1分。木の香、潮の香、湯の香をコンセプトに、全室和室に統一してリニューアル。「和邸」宿泊者専用の、露天風呂「天空」も、魅力です。

MAP 06 ホテル ベルヴェデーレ

太平洋に面した小高い丘に立つ、オーシャンビューのリゾートホテル。ペットと泊まれる客室や、ご家族におすすめの露天風呂付き客室もあります。

MAP 44 サンシャインホテル

新宮駅から徒歩6分と、アクセス抜群のビジネスホテル。表通りから少し内側に位置しており、静かにおくつろぎいただけます。

MAP 07 SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE

白浜の海を一望するホテル。宿泊者以外の方でも利用できる足湯に浸かって至福のひとときを。ベーカリーや特産品のショップ、海中展望塔もあります。

宿泊（ホテル）

詳細はこちら

UKETA MEMO 火山と温泉

温泉は火山の近くから湧くというイメージがありますが、南紀熊野では火山がないのに熱い温泉が湧いています。その要因は今も研究されていて、沈み込むプレートの影響により高温流体が上昇し湧出したからとも考えられています。白浜温泉は、日本書紀にも記載がある、日本で最も古い温泉の1つです。その他にも、椿温泉や勝浦温泉、湯川温泉など、古くから続く歴史ある温泉があります。